

ごあいさつ

～ 学ぶ楽しさを日々感じることできる学校に ～



今年度、倉敷まきび支援学校は、創立12年目を迎えます。平成26年度の開校時に小学部1年生として入学してきた児童が高等部3年生として卒業を迎える年です。被災や感染症対応など数々の苦難を乗り越えての12年です。

今年度は、A部門(知的障害部門)小学部123名、中学部51名、高等部160名、B部門(肢体不自由部門)小学部18名、中学部11名、高等部7名の計370名でのスタートになります。昨年度より20名ほど増えました。教職員は208名です。

本校の子どもたちの育てたい姿については次のように考えています。

めざす児童生徒像

- ・夢をもち、挑戦し続ける児童生徒〈意欲〉
- ・すすんで挨拶ができる児童生徒〈人とかかわる力〉
- ・多様性を認め合い、地域社会の一員として、主体的に社会参加できる児童生徒〈自立と社会参加〉



子どもたちには、自分の好きなことや得意なことをたくさん見付けてほしいと思っています。好きなことをさらに増やし学び続けることで、自信と力を付け、少し難しいことにも挑戦できるようになると思います。また、倉敷まきび支援学校にはいろいろな人がいます。自分との違いに気づき、理解し、認め合い高め合う仲間になってほしいと思います。

「夢」に向かって挑戦する子どもたちを、教職員も応援し、ともに挑戦していきたいと思っています。子どもたちとともに、元気で楽しく過ごし、チャレンジする1年にしていきます。

子どもたちの学校生活や学習の様子を本校ホームページや Facebook で発信しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

本年度も、生徒にとって価値ある学校生活となるよう工夫と改善を重ね、教職員一丸となって教職員一同心を合わせて、校訓のとおり「夢へ みんなで まっすぐに」進んでいきます。

令和7年4月

岡山県立倉敷まきび支援学校

校長 金島 一顯